

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 中国思想中国哲学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

成績	
----	--

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ (中国思想中国哲学 専攻分野)

問一、次の文章①②③は、清・錢大昕が秦蕙田(「公」)の「味經窩類纂」のために撰した序文のひとつ続きの一段である。これを読み、現代日本語訳または書き下し文を作成せよ。訳文は①②③それぞれの問題文の左側に記せ。 ※問題文には句読点等を書き入れてもよい。

①

嘗曰先聖

之蘊具於六經舍六經安有學哉及其出而爲文光明洞達浩乎沛乎一如其意之所欲言而止譬之堂堂之陳正正之旗所向無敵而不爲佻巧詭遇之計蓋嘗受而讀之詩賦章奏序記論說無體不備而說經之文居其大半

②

昔人稱昌黎以六經之文爲諸儒倡今公之文
 非六經之法言不陳非六經之疑義不決折衷百家有
 功後學所謂吐詞爲經而蘄至於古之立言者唯公有
 焉嘗慨秦漢以下經與道分文又與經分史家至區道
 學儒林文苑而三之夫道之顯者謂之文六經子史皆
 至文也

③

後世傳文苑徒取工於詞翰者列之而或不加
 察輒嗤文章爲小技以爲壯夫不爲是恥聲貌之繡而
 忘布帛之利天下執糠粃之細而訾菽粟之活萬世也
 公之學求道於經以經爲文當世推之曰通儒曰實學
 不敢靡以文士目公而其文亦遂卓然必傳於後世此
 之謂能立言者

問二、日本語を母語とする者は（一）、日本語を母語としない者は（二）に解答せよ。

（一）次の文章は、『朱子語類』巻一百二十六「釈氏」の一部である。「これを読み、全文を現代日本語に訳せ。」

如四十二章經，最先傳來中國底文字，然其說却自平實。道書中有真誥，末後有遺教篇，却是竊四十二章經之意爲之。非特此也，至如地獄託生妄誕之說，皆是竊他佛教中至鄙至陋者爲之。某嘗謂其徒曰：『自家有箇大寶珠，被他竊去了，却不照管，亦都不知，却去他牆根壁角，竊得箇破瓶破罐用，此甚好笑！』西漢時儒者說道理，亦只是黃老意思。如揚雄太玄經皆是，故其自言有曰：『老子之言遠德，吾有取焉耳。』後漢明帝時，佛始入中國。當時楚王英最好之，然都不曉其說。直至晉宋間，其教漸盛。然當時文字亦只是將莊老之說來鋪張，如遠師諸論，皆成片盡是老莊意思。

(二) 次の文章は、増井経夫「歴史を創るもの」(『中国史―そのしたたかな軌跡』所収)の
一節である。これを読み、全文を現代中国語に訳せ。

変転する人間模様を宿縁といった因縁で片付けるのにあきたらない場合、どのような解釈
が考えられるのであろうか。中国では古く五行が循環し連続すると想定して、過去を整理し将来まで
判断しようとした。『漢書』の「五行志」にはその実例を多数列挙している。これがどれだけ人を納
得させたかは、わからない。正面きってでたらめばかりだと言ったのは唐初の劉知幾だった。が、一般
には何もいきりたつまでもなく、「天道是か非か」とそれより前から疑われてきているではないか、
が、これに代わる理屈がなければ、信することができなくともそっとしておいた方がよい。熱狂的に
信仰している人たちもいるではないかといったうけとり方だったのではないか。

問三、左記の大項目のなかから三つの項目を選び、それぞれについて知るところを記せ。

中国語による解答も可。

- ①漢書藝文志
- ②經典釈文序録
- ③五經正義
- ④四書集注
- ⑤天主實義
- ⑥四庫全書總目提要

